

世界が進むチカラになる。



二国間クレジット制度(JCM)の更なる促進に向けたセミナー

JCMの詳細説明

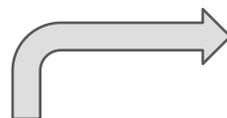
2024年10月17日

地球環境部

上席主任研究員 邊見 達志

JCMの制度に関する背景情報

- 京都議定書のグリーン開発メカニズム（CDM）の制度的特徴から、日本がクレジットを獲得する際に多くの課題に直面
- 経済界からは、多額の費用をかけて外部からクレジットを購入し、目標を達成することに批判も
- 二国間で物事を進めることで迅速化 ⇒ 二国間クレジット制度の誕生



グリーン開発メカニズム (CDM)

- PJのベースライン・追加性証明にかかる手間・コスト
- 事務手続きの煩雑さ(審査機関・事務局による二重のチェック)
- 多国間制度における意思決定に係わるステークホルダーの多さ

JCM二国間クレジット制度 (JCM)

- ベースライン・追加性証明を方法論に内包
- 事務手続きの簡素化
- 二国間で迅速に意思決定

JCM規則・ガイドライン類の作成

■ 制度設計において参照したクレジットメカニズム

- 国連・各国主導型の制度、NPO主導型等が存在

分類		制度名
国連・各国主導型の制度	■ 国内	■ 日本 <ul style="list-style-type: none">● J-クレジット制度
	■ 国連	■ 気候変動枠組条約（UNFCCC） <ul style="list-style-type: none">● クリーン開発メカニズム
NGO/NPO主導の制度		■ Verra <ul style="list-style-type: none">● VCS
		■ Gold Standard Foundation <ul style="list-style-type: none">● Gold Standard

※JCMでは、当時PJ数、クレジット発行量が多かったCDMをベースに、改善を加える形で制度設計を経済産業省・環境省が中心となり実施

■ 規則・ガイドライン類作成経緯

- 2011年から、有識者による制度の在り方検討、専門家委員会によるガイドライン類の検討を経て、2013年のモンゴルで実装
- その後、パリ協定における6条の決定を受け、6条の要素を盛り込んだガイドライン類を作成・順次採択

JCM規則・ガイドライン類の概要

■ 事業者は全てについて知る必要はない

Category	Rules and Guidelines	Forms	
General	Bilateral document / Memorandum of Cooperation		
	1. Rules of Implementation (RoI)		
	2. Glossary of Terms		
Project Cycle	3. Common Specifications of the JCM Registry		
	4. Project Cycle Procedure (PCP)	1. Project Idea Note (PIN) Form 2. Modalities of Communication Statement Form 3. Assessment of Reference Emissions Request Form 4. Project Registration Request Form 5. Percentage of Credit Allocation Form 6. JCM Project Implementation Report Form 7. Credits Issuance Request Form 8. Renewal of Crediting Period Request Form 9. Approved Methodology Revision Request Form 10. Post-Registration Change Request Form 11. Registration Request Withdrawal Form 12. Project Withdrawal Request Form 13. Issuance Request Withdrawal Form	
	5. Guidelines for Developing Proposed Methodology	<ul style="list-style-type: none"> Proposed Methodology Form* Proposed Methodology Spreadsheet* 	
	6. Guidelines for Developing Project Design Document and Monitoring Report	<ul style="list-style-type: none"> Project Design Document (PDD) Form* 	
	7. Guidelines for Developing Sustainable Development Implementation Plan and Report	<ul style="list-style-type: none"> Sustainable Development Implementation Plan (SDIP)* Sustainable Development Implementation Report (SDIR)* 	
	Third-Party Entity (TPE)	8. Guidelines for Designation as a Third-Party Entity	<ul style="list-style-type: none"> Application Form for Designation as a Third-Party Entity*
		9. Guidelines for Validation and Verification	14. Validation Report Form 15. Verification Report Form
	Joint Committee	10. Rules of Procedures for the Joint Committee (JC)	<ul style="list-style-type: none"> Conflict of Interest Declaration Form

- All the relevant documents will be made publicly available at https://www.jcm.go.jp/rules_and_guidelines
- Forms with "*" are included in the relevant guidelines.

(出所) 日本政府資料(2024)「Introduction of the rules and guidelines of the Joint Crediting Mechanism (JCM)」

プロジェクト参加者が知っておくべき制度・手続きの内容①

■ JCM規則・ガイドライン類 ⇒ 事業者は全てについて知る必要はない



Can be conducted by the same TPE
Can be conducted simultaneously

- 事業者が主体的に対応する手続きは、フロー図の赤枠で表示した箇所
- また、PDDの作成、モニタリング報告書作成時には、持続可能な開発に関する計画・報告書の提出を義務付けているパートナー国も存在（今後すべての国で必要となる予定）

* PIN (Project Idea Note): 事業概要書

* PDD (Project Design Document): プロジェクト設計書

(出所) 日本政府資料(2024)「Introduction of the rules and guidelines of the Joint Crediting Mechanism (JCM)」

プロジェクト参加者が知っておくべき制度・手続きの内容②

■ 最低限下記については把握することが望ましい

項目	内容
手続き (PCP)	<ul style="list-style-type: none">■ JCMに関連する手続きが網羅されている■ 本プレゼン巻末のフローチャート参照
事業概要書 (PIN)	<ul style="list-style-type: none">■ プロジェクト概要、体制、相手国への貢献、クレジット配分案等を記入する様式
方法論ガイドライン	<ul style="list-style-type: none">■ リファレンス排出量、プロジェクト排出量、適格性要件、スプッドシート等について説明
PDDガイドライン	<ul style="list-style-type: none">■ プロジェクト情報（参加者含む）の正確性、方法論との整合性（モニタリング方法含む）、モニタリング体制、データの管理・品質確保、モニタリング機器の精度等の記入方法を説明
持続可能な開発 (SD) ガイドライン	<ul style="list-style-type: none">■ プロジェクト計画時 → 環境・社会等への影響の特定と対策の説明、プロジェクト実施後 → 特定された課題への対処実施とその説明（※SDはパリ協定6条においても対応が必要）

プロジェクトの実施①

■ プロジェクトを実施するにあたっての留意点

- JCMがパートナー国の国内制度と融合するケース等、各国の国内制度に影響を受けるケースが出てくる
- 規則・ガイドライン類がパリ協定を受けて修正される。既に一部の国では改訂済み

プロジェクトの実施②

- プロジェクトをより円滑に進めるためには
 - 事業のリスクの軽減
 - 政府の各種支援制度の活用（FS、実証、設備補助等）
 - 余裕をもった事業計画
 - プロジェクト開発・クレジット発行までのリードタイムは長い。プロジェクト実施に向けて、書類作成や調整は早めに行うべき（手続きに関する遅延リスクがある）
- すべてのルールを把握するのは困難
 - PINの検討、方法論作成、PDD作成、妥当性確認・検証受審、モニタリング実施、クレジット発行、クレジット活用等すべての活動
 - ほぼアウトソーシング可能 → 自社ですべてやろうとするのではなく、自社の強みを生かす事業に専念し、各種手続き等は専門家、支援機関等に任せる
- ただし、プロジェクトの実施体制や、削減の考え方を決めるのは事業者自身
- 専門家や支援機関の知見を生かしつつ、事業者自らプロジェクトについて説明できることも大切（特に民間JCMの場合）

JCMの特徴

- パリ協定において使用可能なクレジットを創出可能な数少ない制度
- 相当調整がなされるJCMクレジットは、政府間の取組
- 29か国のパートナー国が対象となっており、これまでに10年以上JCM制度を運営した実績あり



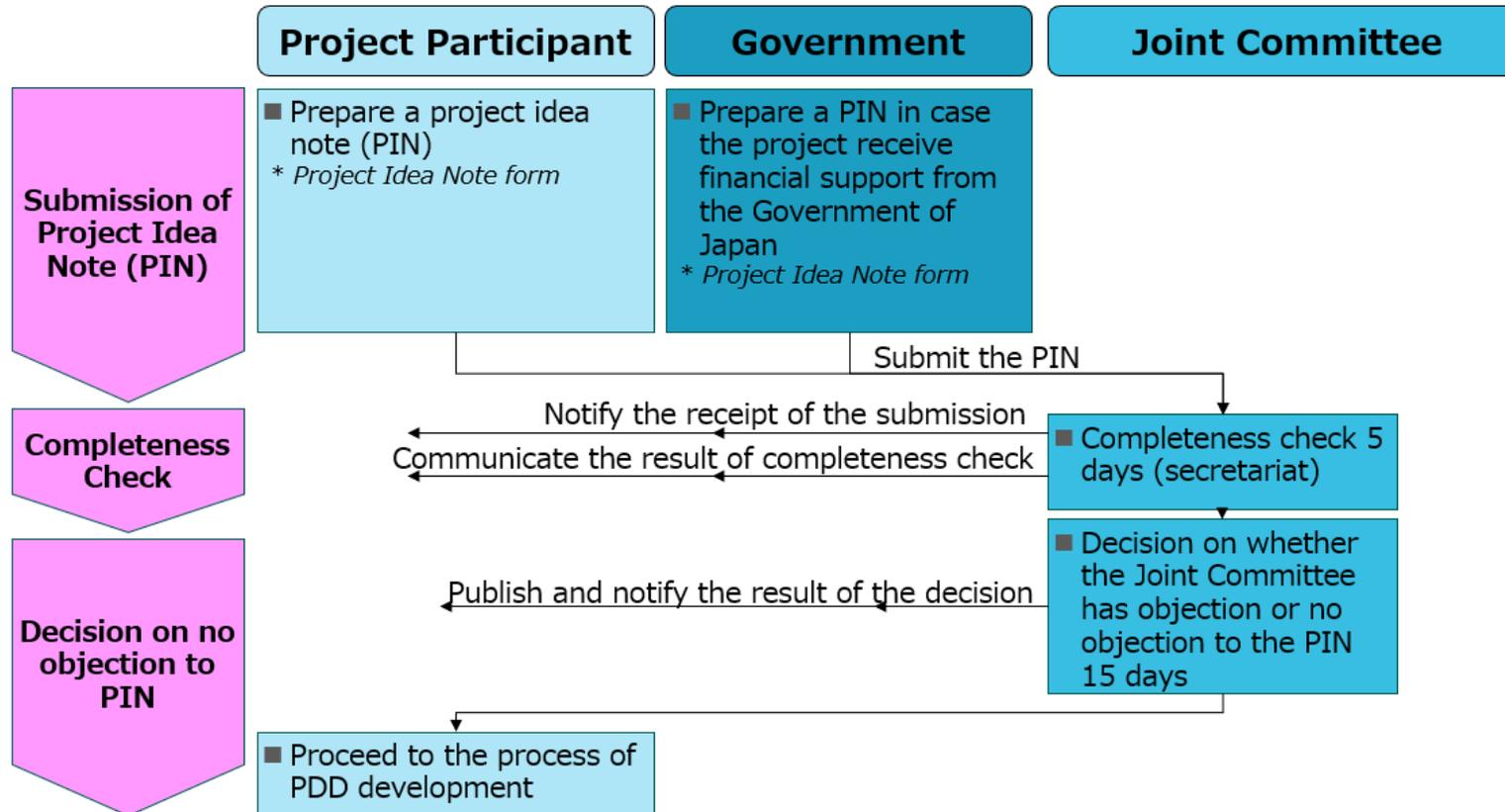
- **政府間の取り組みであることから、自主クレジットにない信頼性と用途が存在**

※JCMの手続きに関して不明な点があれば、事務局まで相談
ください

info@jcm.go.jp

Project Idea Note Submission Procedure of the JCM

17

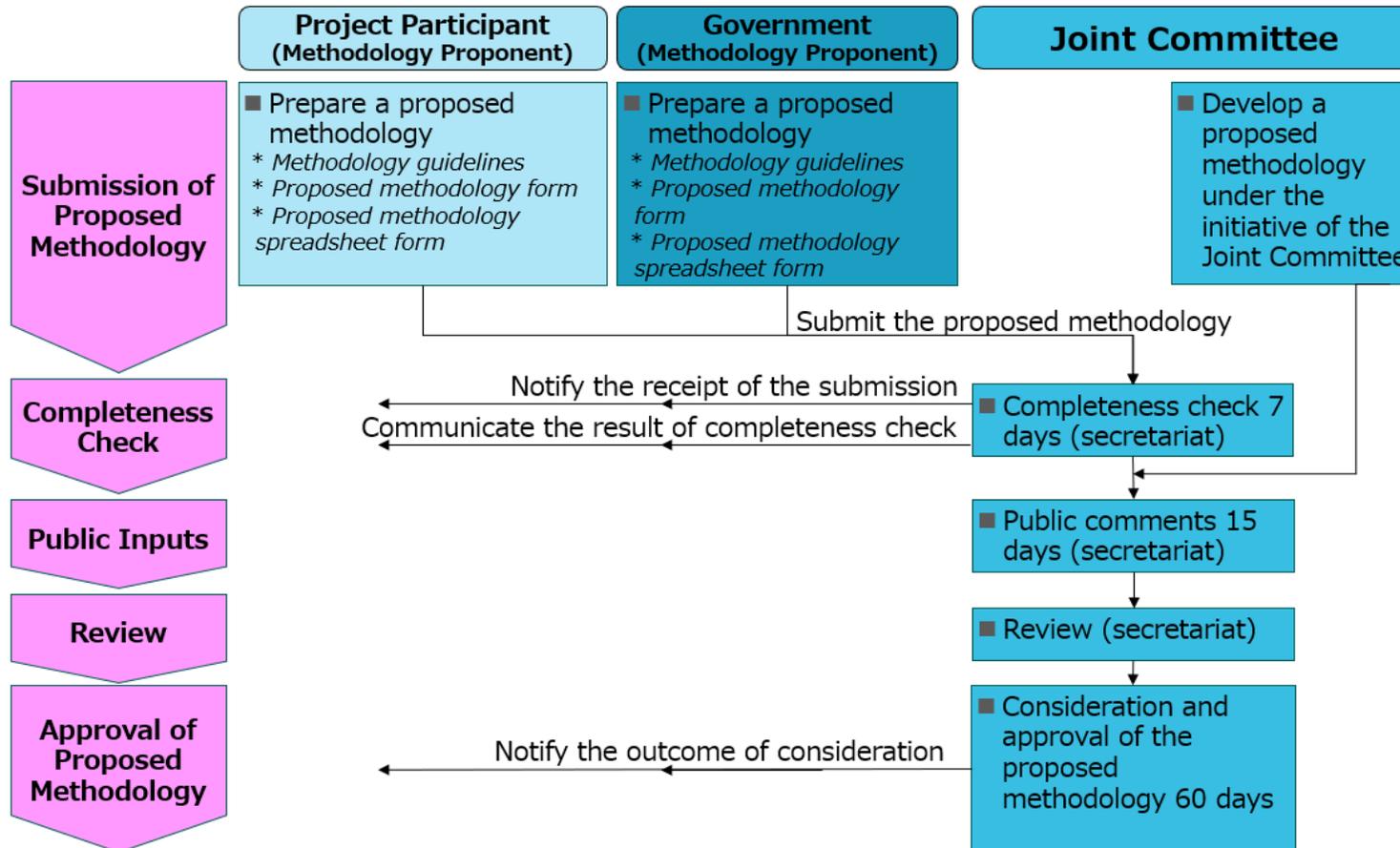


Note: Asterisk (*) indicates documentation relevant for each step of the procedure

(出所) 日本政府資料(2024)「Introduction of the rules and guidelines of the Joint Crediting Mechanism (JCM)」

Methodology Development Procedure of the JCM

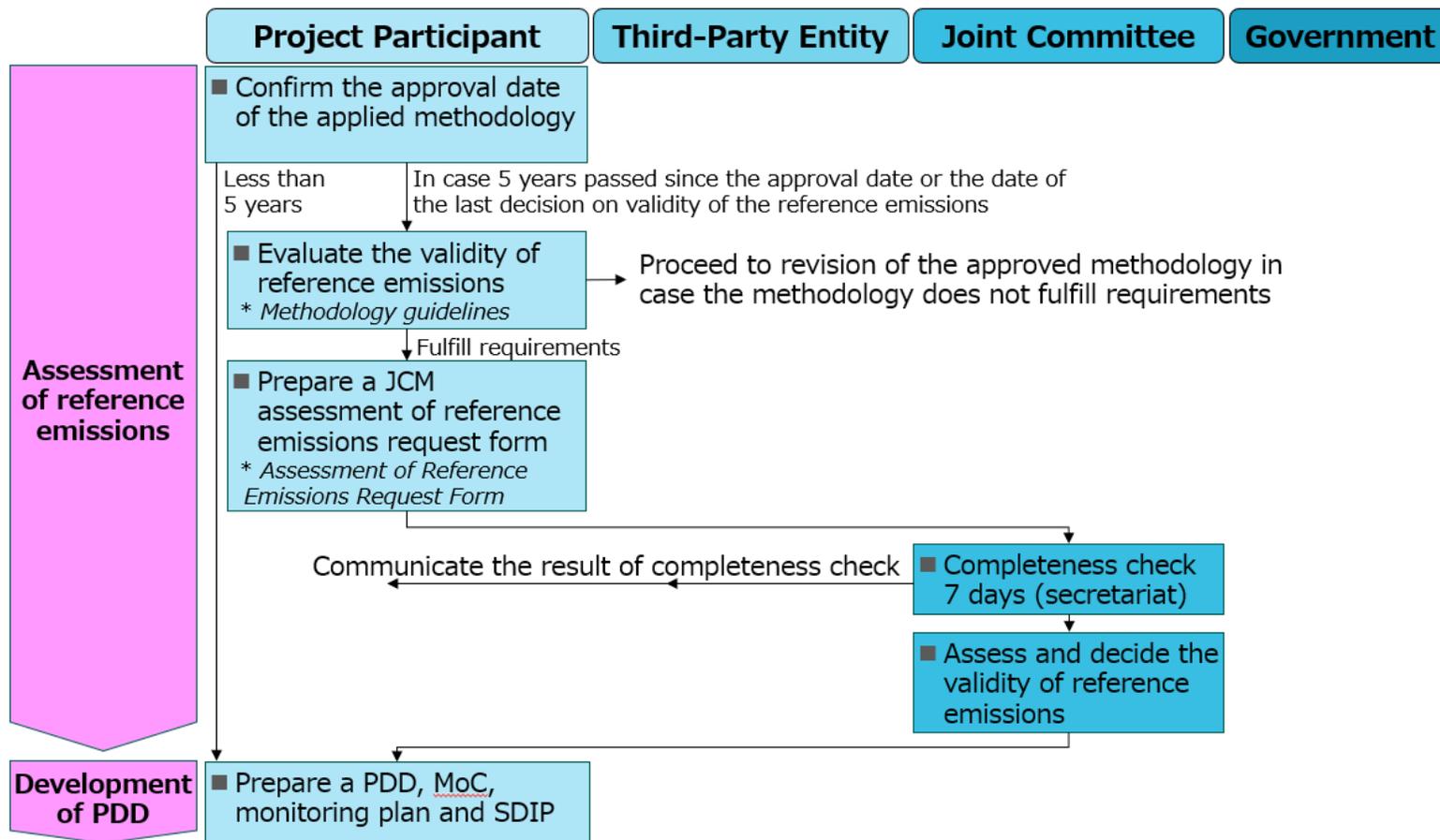
18



(出所) 日本政府資料(2024)「Introduction of the rules and guidelines of the Joint Crediting Mechanism (JCM)」

Registration & Issuance Procedure of the JCM (1/3)

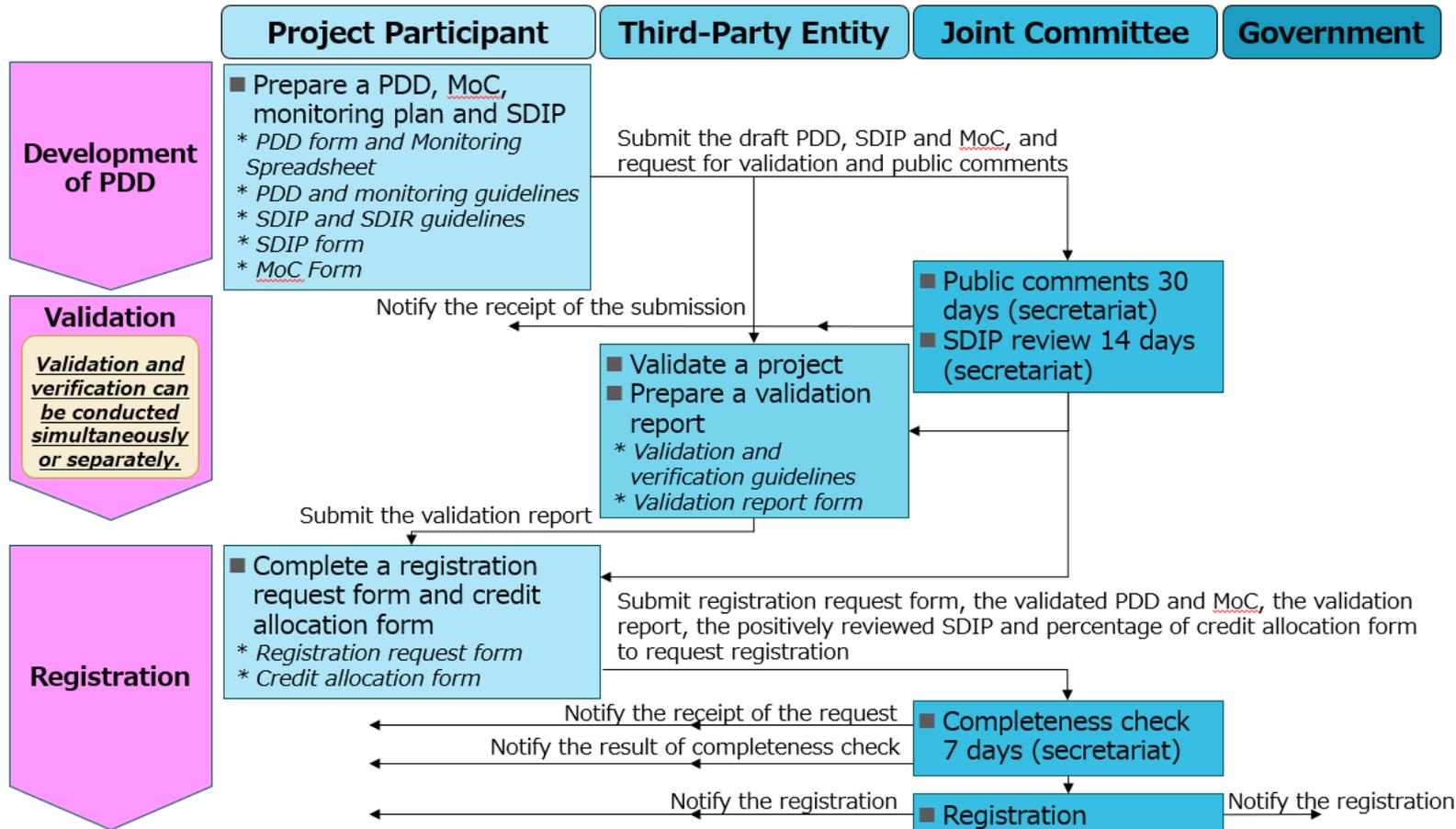
19



(出所) 日本政府資料(2024)「Introduction of the rules and guidelines of the Joint Crediting Mechanism (JCM)」

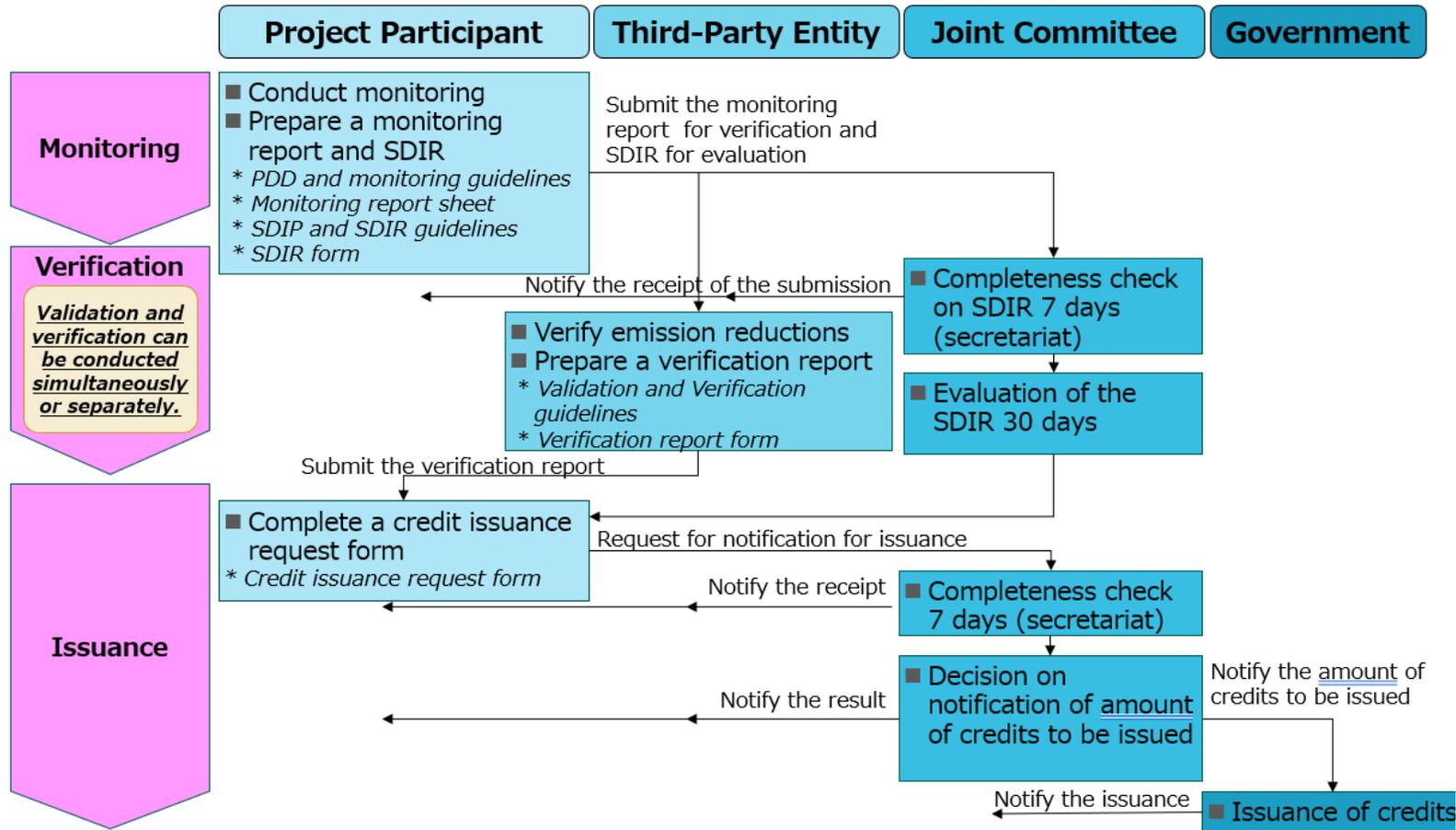
Registration & Issuance Procedure of the JCM (2/3)

20



(出所) 日本政府資料(2024)「Introduction of the rules and guidelines of the Joint Crediting Mechanism (JCM)」

Registration & Issuance Procedure of the JCM (3/3)



(出所) 日本政府資料(2024)「Introduction of the rules and guidelines of the Joint Crediting Mechanism (JCM)」